



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 瀧上工業株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 5918 URL http://www.takigami.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧上品義  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 岩田 亮 TEL 0569-89-2101  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,852	11.5	△120	—	26	△90.0	16	△92.8
2019年3月期第2四半期	7,044	△4.0	59	△67.7	260	△15.2	224	2.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △308百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 704百万円 (53.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	7.37	—
2019年3月期第2四半期	103.02	—

(注) 1株当たり当期純利益は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	42,856	35,298	82.4	16,172.69
2019年3月期	44,474	35,714	80.3	16,365.71

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 35,298百万円 2019年3月期 35,714百万円

(注) 1株当たり純資産は、信託口が保有する当社株式を期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めて算出しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年3月期	—	50.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	△1.2	△200	—	0	△100.0	△50	—	△22.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	2,697,600株	2019年3月期	2,697,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	515,001株	2019年3月期	515,293株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	2,182,368株	2019年3月期2Q	2,182,210株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託（ESOP）制度に係る信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	9
販売実績、受注高及び受注残高(連結) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い内需の下支えにより、企業収益は高い水準で推移しておりますが、一方では弱い外需を背景として、輸出を中心に弱さが見られるなど、景気の先行きについては、不安感が残る中で推移しました。

当社は2018年9月26日に締結した株式譲渡契約により、株式会社ケイシステックニジューサンの全株式を取得して子会社化を致しました。また、当該子会社を連結子会社として連結の範囲に含めたことにより、報告セグメントに「工作機械製造事業」を追加しており、前連結会計年度の第3四半期連結会計期間より、当該子会社の業績を連結損益計算書に含めております。

当第2四半期連結累計期間における連結損益は、完成工事高78億5千万円(前年同期比8億円増・11.5%増)、営業損失1億2千万円(前年同期は5千万円の営業利益)、経常利益2千万円(前年同期比2億3千万円減・90.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1千万円(前年同期比2億円減・92.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

#### ①鋼構造物製造事業

鋼構造物製造事業の状況につきまして、受注高は当第2四半期連結累計期間で35億3千万円(前年同期比37億1千万円減・51.3%減)となりました。

四半期損益につきましては、完成工事高は、一部の工事進行基準対象工事に出来高進捗の遅れはありましたが59億8千万円(前年同期比3億4千万円増・6.1%増)となりました。しかし、営業損益は、一部の橋梁工事の採算見込悪化による工事損失引当金の計上や民間鉄骨工事における採算悪化などが影響したため、営業損失2億6千万円(前年同期は2千万円の営業損失)となりました。

#### ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業における四半期損益につきましては、子会社所有の賃貸マンションの収益増加などにより売上高4億2千万円(前年同期比3千万円増・9.0%増)、営業利益2億4千万円(前年同期比6百万円増・3.0%増)となりました。

#### ③材料販売事業

材料販売事業につきましては、厚板部門、鉄筋・建材部門ともに、第1四半期における当社との材料取引量の増加などから、売上高は17億9千万円(前年同期比3億6千万円増・25.8%増)となりましたが、一方で仕入コストの増加もあり、営業利益は6百万円(前年同期は1千万円の営業損失)となりました。

#### ④運送事業

運送事業につきましては、当社製品の輸送取引に加えて外部の輸送取引が増加したことから、売上高は4億5千万円(前年同期比5千万円増・13.6%増)となりましたが、製品輸送における採算悪化もあり、営業利益は1千万円(前年同期比8百万円減・39.6%減)となりました。

#### ⑤工作機械製造事業

工作機械製造事業につきましては、売上高3億5千万円、営業利益3千万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は428億5千万円(前連結会計年度末比16億1千万円減・3.6%減)となりました。流動資産は、208億1千万円(前連結会計年度末比12億1千万円減・5.5%減)、固定資産は、220億4千万円(前連結会計年度末比4億円減・1.8%減)となりました。

負債は75億5千万円(前連結会計年度末比12億円減・13.7%減)となり、それぞれ、流動負債は37億5千万円(前連結会計年度末比9億8千万円減・20.7%減)、固定負債は38億円(前連結会計年度末比2億1千万円減・5.5%減)となりました。純資産は、352億9千万円(前連結会計年度末比4億1千万円減・1.2%減)となりました。

この結果、自己資本比率は82.4%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、本日(2019年11月14日)に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	11,213	8,953
受取手形・完成工事未収入金等	9,297	10,651
有価証券	300	300
商品及び製品	44	39
未成工事支出金	170	392
材料貯蔵品	157	154
その他	848	321
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	22,031	20,814
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産(純額)	6,986	6,898
その他(純額)	5,657	5,709
有形固定資産合計	12,643	12,607
無形固定資産		
ソフトウェア	31	29
その他	8	8
無形固定資産合計	40	37
投資その他の資産		
投資有価証券	9,471	9,100
その他	290	299
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	9,758	9,396
固定資産合計	22,442	22,042
資産合計	44,474	42,856
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,048	2,785
未成工事受入金	481	151
未払法人税等	39	66
工事損失引当金	234	121
その他の引当金	234	204
その他	700	427
流動負債合計	4,738	3,756
固定負債		
その他の引当金	302	316
退職給付に係る負債	921	920
繰延税金負債	2,270	2,078
その他	526	485
固定負債合計	4,021	3,801
負債合計	8,759	7,557

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	423	423
利益剰余金	32,864	32,770
自己株式	△2,755	△2,753
株主資本合計	31,893	31,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,860	3,531
退職給付に係る調整累計額	△39	△34
その他の包括利益累計額合計	3,821	3,497
純資産合計	35,714	35,298
負債純資産合計	44,474	42,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
完成工事高	7,044	7,852
完成工事原価	6,225	7,183
完成工事総利益	819	669
販売費及び一般管理費	760	790
営業利益又は営業損失(△)	59	△120
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	175	120
賃貸収入	17	18
その他	12	11
営業外収益合計	209	157
営業外費用		
自己株式の取得に関する付随費用	2	2
賃貸費用	5	5
その他	—	2
営業外費用合計	7	10
経常利益	260	26
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	1	—
会員権売却益	35	—
負ののれん発生益	6	—
特別利益合計	42	0
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	2	0
災害による損失	—	4
特別損失合計	2	7
税金等調整前四半期純利益	301	18
法人税、住民税及び事業税	77	50
法人税等調整額	△1	△47
法人税等合計	76	2
四半期純利益	224	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	224	16

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	224	16
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	473	△329
退職給付に係る調整額	5	5
その他の包括利益合計	479	△324
四半期包括利益	704	△308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	704	△308
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	工作機械 製造事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	5,638	393	891	101	—	7,025	19	7,044	—	7,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	532	299	—	832	—	832	△832	—
計	5,638	393	1,424	400	—	7,857	19	7,877	△832	7,044
セグメント利益又は損失 (△)	△21	234	△19	20	—	213	9	222	△163	59

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△832百万円及び「セグメント利益又は損失(△)」には、セグメント間取引の消去額△2百万円、セグメント間未実現利益の消去額4百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△164百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントに「工作機械製造事業」を追加いたしました。

これに伴い「工作機械製造事業」セグメントの資産は851百万円増加しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	工作機械 製造事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	5,982	429	862	203	355	7,832	20	7,852	—	7,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	929	252	—	1,181	—	1,181	△1,181	—
計	5,982	429	1,791	455	355	9,014	20	9,034	△1,181	7,852
セグメント利益又は損失 (△)	△265	241	6	12	33	27	10	38	△158	△120

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。
- 2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△1,181百万円及び「セグメント利益又は損失(△)」には、セグメント間取引の消去額1百万円、セグメント間未実現利益の消去額△3百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△156百万円を含んでおります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

販売実績、受注高及び受注残高 (連結)

(1) 販売実績

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	4,639	65.8	4,479	57.0	10,170	65.6
鉄 骨	998	14.2	1,503	19.2	2,162	14.0
小 計	5,638	80.0	5,982	76.2	12,333	79.6
不 動 産	393	5.6	429	5.5	823	5.3
材 料 販 売	891	12.7	862	11.0	1,884	12.2
運 送	101	1.4	203	2.6	277	1.8
工 作 機 械	—	—	355	4.5	136	0.9
そ の 他	19	0.3	20	0.2	33	0.2
合 計	7,044	100.0	7,852	100.0	15,489	100.0

(2) 受注高

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	6,784	93.6	3,224	91.2	15,389	85.3
鉄 骨	466	6.4	310	8.8	2,659	14.7
合 計	7,251	100.0	3,534	100.0	18,048	100.0

(3) 受注残高

区 分	前第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)		当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)		前連結会計年度末 (2019年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	12,197	88.0	14,016	90.4	15,271	85.0
鉄 骨	1,658	12.0	1,493	9.6	2,686	15.0
合 計	13,855	100.0	15,509	100.0	17,957	100.0